

【概略】

平成28年度 上小阿仁村 財務状況把握の結果概要について

総合評価

債務償還能力〔地方債等の債務の大きさとその償還原資を獲得する能力〕

問題なし

実質債務月収倍率(②)が低いことから、債務の水準に問題はない。
また、行政経常収支率(④)が高いことから、償還原資の水準に問題はない。

資金繰り状況〔積立金等の備えと経常的な収支からみた資金余裕状況〕

問題なし

積立金等月収倍率(③)が高いことから、資金繰り余力の水準に問題はない。
また、行政経常収支率(④)が高いことから、経常的な収支の余裕度の水準に問題はない。

財務指標

指標	①債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$)	②実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	③積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	④行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$)
問題なし	0.0年	▲7.2月	20.7月	24.3%
やや注意		18月	3月	10%
注意	15年	24月	1月	0%

問題なし

(債務系統)

債務償還能力

問題なし

(収支系統)

問題なし

(積立系統)

資金繰り状況

今後の見通し

当面(平成33年度まで)のストック面とフロー面の見通し

科目	33年度の見通し
地方債現在高	減少
積立金等残高	増加
行政経常収入	減少
行政経常支出	増加